

新北市藝遊

新北市ニューアート新北市博物館と芸術文化情報

日文版

05
Apr.
2019

徵件日期 | 5.1 WED
2019.6.2 SUN

水墨
繪畫
水彩
版画

108年
新北市
學生美展

NEW TAIPEI CITY STUDENT ART CONTEST



2019年新北市 學生美術展作品募集

会期 05/01-06/02

ウェブ www.xzcac.ntpc.gov.tw



新北市政府文化局主催の「新北市学生美術展」は今年で8年目に突入しました。市内の学生が絵筆を取り、創意を發揮し、自己を表現する機会を促すだけでなく、本コンテストは芸術文化創作の氣風を蓄積し、美術教育、芸術文化の保存と發展の精神を提唱し、新北市学生の芸術的潜在力を開発し続けています。

9部門で美術創作作品を募集

「2019 新北市学生美術展」は5月1日から作品募集を開始します。作品募集は、水墨画中学生・高校生部門、絵画小学生部門、水彩画小学生・中学生・高校生部門、版画小学生・中学生・高校生部門の9つに分かれます。

新北市に籍を置いている、または新北市の公立・私立高校（職業高校）、中学、小学校の在籍学生で、且つ中華民国国籍を有する方は誰でもご応募いただけます。応募作品は必ず2年以内に創作されたものとし、また国内外のコンテストで優秀賞（上位3位）内に入賞したことがある作品ではないものとします。コンテスト応募はお一人様につき各部門作品1点のみです。偽名では応募できません。

青春を謳歌し 唯一無二の未来を描き出す

新北市の芸術を愛する学生はこのチャンスをとらえぜひ応募してください。コンテストを通じて創作のエネルギーと情熱を示し、力いっぱい青春を謳歌しましょう。奨金や栄誉が得られるだけでなく、最も重要なことは、自分の唯一無二の未来を描き出し、芸術創作の舞台の中心に向かって邁進すると同時に、新北市芸術文化のために多くの活力と彩りを注ぎ、鑑賞者を異なる芸術風貌の探索に誘い、都市全体に共同創造の無限の可能性をもたらすことです。（応募関連情報の詳細につきましては、新莊文化芸術センター公式サイト www.xzcac.ntpc.gov.tw でご確認ください）

SF な未来—中村光毅のアニメ美術回顧展

会期 即日より 05/27 まで

場所 5階



40年以上アニメ業界に身を捧げた中村光毅（1944-2011）は、1970年代と80年代の日本アニメ史におけるカリスマ的存在でした。『機動戦士ガンダム』や『風の谷のナウシカ』などをはじめとする100作近いアニメ作品の美術監督を務めたほか、富野由悠季や宮崎駿らの有名アニメ監督が指名するほどの優秀なアニメーターでもありました。

今回の展示会は2017年にデンマークで開催された回顧展に次ぐ海外展で、『機動戦士ガンダム』、『宇宙エース』、『マッハGoGoGo』といった代表的作品のアニメ原稿が展示されます。

板橋区 府中 15

バス→ 停「府中駅」か「板橋区公所」で下車し、徒歩約3分で到着。

MRT → 板南線に乗車し、府中駅で下車。2番出口を右へ進み、徒歩約40mで到着。もしくは1番出口を右へ進み、道を渡って直進。約3分で到着。



DATA 新北市板橋区府中路15号
02-2968-3600#211
09:00-18:00（第一月曜日休館）

子供の日 DIY イベント

会期 05/11（土）

場所 定静堂



林本源園邸では母の日を祝うために、中華フラワーアート協会をお招きし、「フラワーアートDIY」体験イベントを開催します。感謝の気持ちが、美しいフラワーアレンジメント作品となります。現場では様々なお花を提供いたしますので、皆様でアイデアを發揮して、フラワーアレンジメントを最も美しい作品に仕上げてください。

また携帯に便利な小さな花かごで作品をお持ち帰りいただけます。1年に一度の節句において、フラワーアートで感謝の気持ちを伝え、お母様の笑顔を輝かせましょう。

板橋区 新北市国定古跡林本源園邸

自動車→ 台北市和平西路三段から、華江橋を渡って文化路を直進し、民権路を右折したらすぐ左折します。運動場に沿って進むと到着します。

バス→ 264、307、310、701、702に乗車し林家花園駅で下車いただくと、板橋林家花園に到着します。

MRT → 板南線（青ライン）「府中駅」で下車し、1番出口から徒歩約8分。



DATA 新北市板橋区西門街9号
02-2965-3061#23
09:00-17:00（第一月曜日休館）

飲食物語—陶器器皿と文化の日常

会期 即日より 09/15 まで

場所 3階企画展室



陶器は人々の生活と非常に近い位置にある芸術アイテムです。特に飲食において、素敵な食器は常に人々の食欲を大きくわかせ、更には観賞して目で楽しむ生活美学を体現しています。芸術家と職人は、現代の飲食生活における芸術に対して想像を膨らませ、様々な人生も反映させます。飲食という観点から、食べ物はまず味覚の享受を引き起こしますが、味覚のみならず、視覚も兼ね備えており、このため、美感へのニーズが存在します。「飲食物語」は、飲食と器皿使用の歴史、人類学と美学意識を展示し、さらには文化の流動を再現し、本来の環境と自然へのケアに回帰します。

鶯歌区 新北市立鶯歌陶磁博物館

自動車→ 国道3号線高速道路三鶯インターチェンジ（交流道）を下りて、鶯歌方向へ進み、三鶯橋を渡って文化路公共駐車場へ。

バス→ 台北客運バス702、851、917、981に乗車するか、桃園客運バス（鶯歌方向）に乗車。

鉄道→ 台湾鉄道の区間車に乗車して鶯歌駅にて下車。文化路出口から駅を出て、徒歩約10分。



DATA 新北市鶯歌区文化路200号
02-8677-2727
月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）

顔友—台湾原住民の人面文物特別展

会期 即日より 06/23 まで

場所 2階ギャラリー



十三行博物館の人面土器が顔友を招集しました。温厚な顔、微笑みを浮かべる顔、陶製の顔、木彫の顔など、様々な人の顔が一堂に会し、それぞれの物語を語ります。台湾で出土した人面や人型の装飾模様は、形とスタイルにそれぞれの趣きがあるだけでなく、台湾原住民の社会では、重要な歴史の由来と意義を持っています。ぜひ十三行博物館に足を運び、面白い顔友たちのことを知ってください。

八里区 新北市立十三行博物館

自動車→台15号線：関渡大橋→台15号線を八里方向（龍米路）へ→中華路→文昌路→博物館路→十三行博物館

MRT → ①淡水線「淡水駅」→渡し船→紅13番バス→十三行博物館、または、渡し船→紅22番バス、704番バス→仁愛路口→徒歩5分→十三行博物館。
②淡水線「関渡駅」紅13番バス→十三行博物館、または紅22番バス→仁愛路口→徒歩5分→十三行博物館。



DATA 新北市八里区博物館路200号
02-2619-1313
09:30-17:00（第一月曜日休館）

黄金山脈の宝物—水金九地質遺産巡礼展

会期 即日より 10/27 まで

場所 鍊金楼1階特別展示室、金水特別展示室



金瓜石・九・武丹山一帯の浅熱水性鉱床は、台湾で最も鉱物が多く産出される宝の地です。台湾の金鉱・銅鉱産業の歴史と豊かな歴史遺産を、一般の方々により深く体験・理解していただくため、黄金博物館では特別にこの巡礼展を企画しました。同展では水金九地区の地質景観紹介と地元特有の貴重な鉱物資産が展示されるほか、自然科学研究、鉱業・冶金、人文発展との関係にまで内容を拡大させることで、山あいの鉱業の町がかつてたどってきた発展の歴史を、若い世代にも伝えていきます。

瑞芳区 新北市立黄金博物館

①台北—金瓜石：台北 MRT「忠孝復興」駅2番出口前にて基隆客運（バス）1062系統に乗車→瑞芳、九份を経て終点「金瓜石」にて下車。
②基隆—金瓜石：鉄道「基隆」駅前の「基隆火車站（仁祥診所）」停留所で基隆客運（バス）の788系統に乗車→瑞芳、九份を経て「金瓜石」にて下車。

鉄道→「台北」駅で東部幹線の宜蘭・花蓮方面行き列車に乗車→「瑞芳」駅にて下車→新北市警察瑞芳分局協（区民広場）の「地政事務所前」停留所で基隆客運（バス）の1062系統、788系統に乗車→「金瓜石」にて下車。



DATA 新北市瑞芳区金光路8号
02-2496-2800
月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）

染で遊ぶ—魏籤誌デザイン藍染展

会期 05/16-07/14

場所 新北市客家文化園區2階



運用の創作を展示します。魏籤誌先生は、伝統的な古法創作と共に、多元的な文化コードにより伝統に新しい意味を添え、知性的美学を解き放ち、自己のスタイルを実践しています。参観者は藍染の独自性と優雅さの中でゆったりと過ごせます。

三峽区 新北市客家文化園區

バス→台北客運バス702番、851番（休日運休）、917番、981三鶯線先導バス、桃園客運バス5005番（三峽-桃園）。

鉄道→台湾鉄道「鶯歌站」駅で下車し、桃園客運バス5005番（三峽-桃園）または、台北客運バス981三鶯線先導バスに乘換え。

MRT → ①板南線（青ライン）「永寧駅」→台北客運バス917、981三鶯線先導バス。
②板南線（青ライン）「頂埔駅」→台北客運バス981三鶯線先導バス。

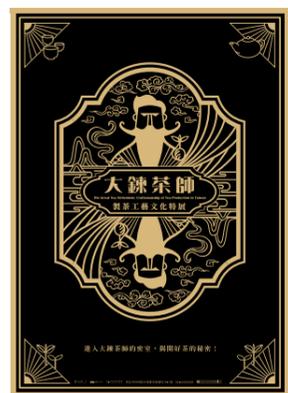


DATA 新北市三峽区隆恩街239号
02-2672-9996
月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00（第一月曜日休館）

偉大な鍊茶師—製茶工芸と文化特別展

会期 即日より 09/01 まで

場所 新北市坪林茶業博物館



新たなデジタルテクノロジーを駆使し、会場を神秘的な製茶の密室に造り上げ、伝統産業に対するステレオタイプのイメージを覆します。本展では、茶樹栽培の起源から、製茶技術の発展、古い製茶工場の物語、茶職人の伝承と革新、茶産業の多様な発展などに至るまで、茶工芸の神秘のベールを少しずつ取り払っていきます。同時に、革新的なアイデアでARやプロジェクションマッピングなどのデジタルテクノロジーを導入し、多様で豊富なインタラクティブ体験を通して、製茶工芸の素晴らしさと奥深い世界をご案内いたします。

坪林区 新北市坪林茶業博物館

自動車→新店または宜蘭から省道台9号線を通り、北宜線または国道5号に入ると到着します。景美からは106線で木柵、深坑、石碇106乙線道を通り、關瀨から坪林行きの産業道路に入れば到着します。

MRT → 新店駅で下車し、923または緑12の新店客運バスに乗り換えて坪林中学駅で下車、徒歩約5分で到着します。



DATA 新北市坪林区水德里水尊凌坑19-1号
02-2665-6035
月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-17:30（第一月曜日休館）

国立台北芸術大学美術学科 曾奕潔 | 葉珈好卒業ダブル個展

会期 05/11-06/14

場所 滬水一方芸文空間4階



葉珈好の空間装置、映像、そして曾奕潔の絵画を展示します。二人は滬水一方芸文空間に芸術の異なる顔と芸術の様々な可能性を探ります。葉珈好は長期的に各種材質の可能性と発展性に力を注いでいます。今回、個人の生活経験を土で表現し、木製の構造体に置き、両者の材質、質感、色彩、形態、質量などを通じて、芸術装置（インスタレーション）作品全体に更に豊かな言葉を与えます。曾奕潔は主にアクリル顔料で絵画創作を行っています。芸術そのものとの呼応を試み、多くの異なったシリーズの作品に発展させています。

淡水区 新北市立淡水古跡博物館

滬水一方芸文空間

自動車→台北方面から省道台2乙線に沿って士林、石牌、北投を経由し、大度路へ進みます。関渡大橋を渡り、淡水の竹園、紅樹林に入ってから、淡海方面に進むと標識案内が見えます。

MRT → MRT各路線から直通又は乗り換えて淡水駅まで向かい、案内標識に従って857番バス・紅26番バス・836番遊園バスのいずれかに乗車。

バス→国光客運又は基隆客運（基隆-金山-淡水線）に乘車。MRT淡水駅で下車後、案内標識に従って857番バス・紅26番バス・836番遊園バスのいずれかに乗車。



DATA 新北市淡水区觀海路91號5階
02-2805-0308
月曜～金曜 10:30-17:00、土曜～日曜 10:30-18:00（第一月曜日休館）